

株式会社インフォトレイズ

2009年6月23日

## 国内のプロダクションデジタル印刷機市場規模と予測を発表

- 2008年の国内プロダクションデジタル印刷機市場の販売台数は21,108台で前年比成長率は-19.6%でした。販売金額は726億5,300万円で前年比成長率は-14.5%でした。
- 2008年のプロダクションデジタル印刷機市場は、2007年に引き続き順調に拡大すると見られていましたが、経済環境の悪化の影響で、販売台数、販売金額とも大幅に減少しました。
- 2009年は引き続き経済環境悪化の影響で市場の縮小は継続しますが、2010年以降に市場は再度拡大基調に入ると予測しています。特にカラープロダクション専用機については印刷業界の潜在的な需要は大きく、景気の回復とともに販売台数は順調に増加するとみています。
- 2008年～2012年までの販売台数のCAGR(年平均成長率)は2009年までの市場縮小の結果-4.9%ですが、高速、高機能のカラープロダクション機市場が拡大するために、販売金額のCAGRは0.2%とプラス成長を予測しています。

株式会社インフォトレイズ（東京都渋谷区広尾1-3-18 広尾オフィスビル、代表取締役：塚本卓郎）は、国内市場におけるプロダクション（業務用）デジタル印刷機市場の予測レポートを発表しました。販売台数は2007年から大きく減少した2008年の21,108台から、2012年には20,409台に、販売金額は2008年の726億5,300万円から2012年には856億5,800万円に、回復すると予測しています。

2008年の国内プロダクションデジタル印刷機市場の販売台数は21,108台で前年比成長率は-19.6%でした。販売金額は726億5,300万円で前年比成長率は販売台数ベースよりは減少幅は小さく、-14.5%でした。2008年6月にはdrupa2008が開催され、その前後の新製品の登場によってデジタル印刷機の市場が急速に拡大していくと考えられましたが、9月から顕在化した世界同時不況によって2008年後半には市場が急速に冷え込んでしまいました。国内でも2006年、2007年、2008年前期と順調に市場が拡大してきたのですが、2008年後期の不況の影響は甚大で、市場の勢いは完全に殺がれてしまいました。2009年も国内企業では設備投資の抑制が継続して、市場はマイナス成長であると予測しています。

インフォトレイズでは2010年以降も米国経済の回復が立ち遅れるために、国内経済が先んじて回復してゆく場合でもその速度は緩やかであると考えています。しかし、デジタル印刷機市場は、小ロット、短納期への対応、印刷物生産の効率化などの優位性によって2007年～2008年前期には急速に成長した市場であり、設備投資への意欲が回復すれば、再度成長軌道に乗ると予測しています。

次ページ図1は、2005年～2012年のプロダクションデジタル機の販売台数実績と予測です。2008年～2012年の全体のCAGRは-4.9%で、カラー機は-5.3%、モノクロ機は-1.5%と予測しています。今回のカラー機市場規模予測で、全体の出荷台数が大きく減少し、今後の増加率が低く留まる要因は主に低速カラー機（印刷速度44ppm以下、カラー機出荷台数全体の80%以上を占める）の需要が今後あまり伸びないと予測した結果です。大口の利用者であるコンビニエンスストアやコピー業者、中小規模の企業内印刷部門では、2007年までに旧モデルとの入れ替えもある程度終了し、今後は経済状況を見ながらの設備更新となるために今年から2-3年は需要が低迷すると考えられます。逆に中高速機は印刷業者の導入が一時的に減少していますが、潜在的な需要は高く、経済状況が安定してくれば販売台数は確実に

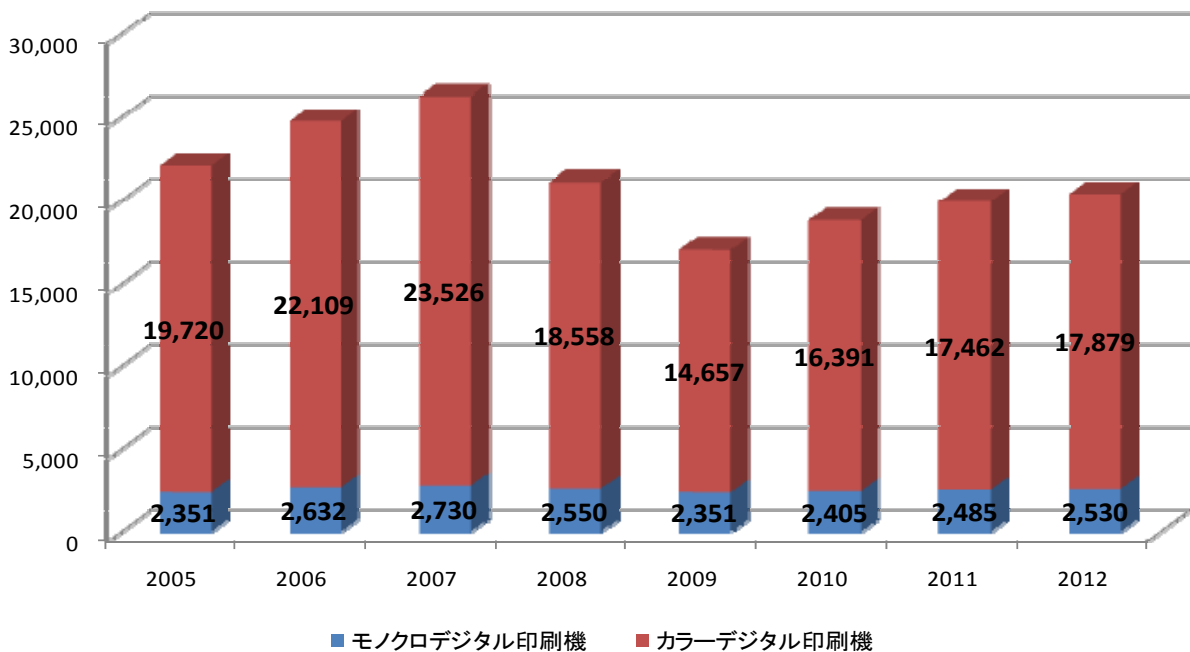
2008年のレベル以上に回復すると予測しています。2008年～2012年のCAGR(年平均成長率)は、45～69PPM機の市場では10.7%、70PPM以上の機種種の市場では、37.7%と予測しています。

モノクロ機の2009年の販売台数予測は経済不況の影響で前年比成長率はマイナスですが、カラー機市場よりも下げ幅は小さく-7.8%にとどまります。ただしモノクロのデジタル印刷需要が今後大きく伸びる可能性は低いため、モノクロプロダクション機市場全体が大きく拡大する要素は少なく、2010年から市場回復期に入っても、その後の成長率は低いと予測しています。

図1、2005年～2012年国内プロダクションデジタル機販売台数実績と予測

**2008～2012年販売台数のCAGR**

**モノクロデジタル機：-1.5%、カラーデジタル機：-5.3%、デジタル機全体：-4.9%**



上記の国内市場規模と予測、および市場分析は、2009年6月に(株)インフォトレンドズより発行されたレポート、「2008年国内POD市場規模と予測：2009年4月アップデート」に掲載されています。なお本レポートには、プロダクションデジタル印刷機のベンダーシェア、印刷速度別市場規模と予測、インクジェット機と電子写真機の市場比較についての報告も掲載されています。

また7月16日開催のPODコンファレンス2009 <http://www.infotrends.co.jp/podjapan/> 内のセッションにて解説させていただきます。

## POD (プリント・オン・デマンド) ジャパン コンファレンス 2009

日 時： 2009年7月16日(木) 9:45 - 17:45 (受付 9:30~)  
会 場： 東京ステーションコンファレンス (東京駅八重洲北口サピアタワー)  
<http://www.tstc.jp/access/>  
主 催： 株式会社インフォトレンドズ  
参加費： 49,000円 (51,450円税込) … 特別早期割引 2009年6月26日(金) まで  
59,000円 (61,950円税込) … 早期割引 2009年7月3日(金) まで  
69,000円 (72,450円税込) … 通常価格 2009年7月4日(土) 以降  
定 員： 70名  
申 込： <http://www.infotrends.co.jp/podjapan/>

## 2008年国内 POD 市場規模と予測：2009年4月アップデート版

発 行：2009年4月発行

- プレゼンテーション形式資料 (19 ページ, チャート・分析)
- スプレッドシート形式データファイル (Production 市場全体, カラー・モノクロ, スピードセグメント別, インクジェット/電子写真別, などの販売台数, 販売金額, 設置台数 <MIF>, 平均価格, 印刷コスト, プリントボリューム, サプライ・サービス金額などのデータ)

価 格：398,000円 (417,900円 税込)

※POD (Print On Demand) とは、製版工程を経ずに、必要なときに必要な量を随時印刷するデジタル印刷技術。小部数印刷での一部あたりの印刷コストを低減でき、頻繁なデータのアップデートに対応、一枚一枚異なる内容を印刷する可変印刷でのデータベース活用など、IT時代の印刷方式として注目を集めています。

## 株式会社インフォトレンドズについて <http://www.infotrends.co.jp/profile.html>

株式会社インフォトレンドズは、米国のボストンに本社を置く InfoTrends 社の日本法人です。InfoTrends 社は、ワールドワイドでデジタルイメージング、ドキュメントソリューション市場に特化した綿密な調査活動を展開していることでは高い評価を得て、お客様に市場動向の分析レポートを提供し、市場コンサルティングを行っています。株式会社インフォトレンドズは日本および中国をはじめとするアジア地域の調査活動を統括し、国内のお客様にワールドワイドレポートの販売、コンサルティングをおこなっています。調査内容、発行レポートの詳細については以下の URL をご参照ください。

本社サイト：<http://www.infotrends.com> 日本サイト：<http://www.infotrends.co.jp>

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

株式会社インフォトレンドズ

〒150-0011 東京都渋谷区広尾 1-3-18 広尾オフィスビル

担当：水村

Tel. 03-5475-2663 Fax. 03-5475-2710

Email: [info@infotrends.co.jp](mailto:info@infotrends.co.jp) URL: <http://www.infotrends.co.jp>